

F U K U I

うま
美し

みはま
美浜

M I H A M A T O W N

人と自然が創り出すハートフルなまち

人と自然がふれあい、心と心がふれあう。
そこから人の輪と和が生まれ、笑顔が生まれる。
暮らす人がいきいき元気になれる
ハートフルなまち。それが美浜です。



おかえりなさい、 うま 美し浜へ

美浜町の最大の魅力といえ、その名のとおり、美しい海辺の風景です。若狭湾国定公園に指定されている海岸線は、変化に富んだリアス式海岸で、砂浜や岩礁の海岸、漁港などバラエティに富んだ景観を創り出しています。

中でも「水晶浜」は、日本海の澄んだ水と、きめ細かな白い砂の砂浜が広がり、水の透明度などを基準に選ばれた「日本の水浴場88選」にも選ばれています。

この美しい風景を未来に継承していくため、美浜町では「美浜町環境基本計画」を策定し、環境保全に取り組んでいます。

水晶浜

発刊のごあいさつ



美浜町では、平成十八年度から「第四次美浜町総合振興計画」に基づいて、「自然かがやき人いきいき 町がにぎわう 美し美浜」を将来像とした積極的なまちづくりを進めています。

町を取り巻く様々な社会情勢の中で、美浜を主張する個性的で自立したまちづくりのためには、住民と行政が情報を共有しながら、まちづくりについて学ぶ「共学」が重要であり、それぞれの役割や責任を分担し実行する「協働」が不可欠であると考えています。

「美し美浜」には、美浜の自然がいつまでも美しく、食べ物美味しく、そして何よりも「心」を美しく豊かに育んでいきたいという思いが込められています。

この「美し美浜」こそが、全町民の願いであるとともに、成し遂げなければならない目標であると考えています。

美浜町長

山口 治太郎

静けさ宿る うま 美しく湖

美浜町と隣町の若狭町にまたがる「三方五湖」は、若狭湾国定公園を代表する景勝地です。久々子湖をはじめ5つの湖は水路でつながり、それぞれ水質や水深が異なることから湖面の色が異なって見え、五色の湖と呼ばれています。その美しさは古の人々にも称えられ、

若狭なる
三方の海の浜清み
い往き遠らひ
見れど飽かぬかも

と万葉集に歌われています。三方五湖は、野鳥をはじめとする野生の生き物たちの生息地としても貴重な場所です。かけがえないその環境を守るため、平成十七年には、ラムサール条約登録湿地に認定されています。



美浜町へのお便りリレー②

拝啓、
ふるさと様。

川藤幸三さん

「たまたま帰省するまいりまーさん。美浜の地に足を踏み入れる時必ず自然と変身するのを覚えています。友人、それと待つてくれる母。美浜は心の拠り所です。帰省する時、自分を受け入れてくれる所帰省する。故郷がある事は本当に幸せなことだと思います。」

美浜へ帰ります。

美浜町へのお便りリレー①

拝啓、
ふるさと様。

五木ひろしさん

ふるさとを想うといつてもめどろの涙が浮かんでしまいます。私にとってもふるさと美浜は、おどろそのものなのです。豊かな自然に囲まれている。少時代は大きな夢を希望を育んでくれました。そして、ついに礎にたえ、いま、感謝の気持ちを一杯です。これからこの美浜町で美浜が多くの子供達の夢を育む町であってほしいと思います。

五木ひろし

へしこの町の町



美浜の風土と人が
育む伝統食

「へしこ」は若狭地方に伝わる魚のヌカ漬けで、鯖の好漁場の若狭湾に面した美浜町では「鯖のへしこ」作りが昔から盛んです。美浜のへしこは漬け込みに醤油や酒などの調味料を使うのが特徴で、町ではこの伝統食を守り伝えるため、平成十七年に「へしこの町」を商標登録しました。現在、美浜ブランドとして多種多様なへしこが製造されるほか、観光体験にへしこ料理作りが取り入れられるなど、へしこを生かしたまちおこしが進められています。



へしこの樽あげ

冬に漬け込まれた鯖は本漬けからひと夏を越し、早ければ翌年の秋には食べられます。



1 さばく
鯖の内臓をきれいに取り除き、腹と表面に塩を振ります。

塩漬け

塩を振った鯖を樽に1~2週間漬け込みます。鯖の体内から水分が出てきたら取り出します。



本漬け

鯖の塩を取り除き、醤油などで下味をつけ、ヌカをまぶし、調味料を加えて、再び樽の中に重ね入れ、上から重石をして寝かせます。



樽あげ

鯖のへしこ

伝統を守りながら、現代人の口に合うように改良を重ねられた美浜町の「鯖のへしこ」。血圧抑制効果のあることが医学的に確認された健康食品としても注目を集めています。



美浜の食

四季の誘惑

美し自然が育んだ美味し味



秋の美味

さつまいも

新庄大谷原の良質な赤土で育ったさつまいもは、糖度が高いのが特徴です。焼き芋や炊き込みご飯にすると、自然な甘さが際立ちます。



米



春の美味

さば寿司

新鮮な鯖をひと塩し、酢でしめたものを使います。さっぱりした酢飯が肉厚の鯖の旨みを引き立てます。

甘鯛づくし

美浜で獲れる甘鯛は、京都で高級魚の「若狭ぐじ」として有名です。夏期限定で朝とれたての甘鯛のおいしさを存分に楽しめます。



夏の美味

冬の美味

わさび

清流が流れる山間の新庄地区で栽培されています。自然の美しい美浜だからこそ味わえる山の幸です。



日本酒・地ビール



三方五湖レインボーライン

美浜町から標高395mの梅丈ヶ岳山頂を経て隣の若狭町へ至る全長11.2kmの観光道路です。展望台からは若狭湾と三方五湖が一望できます。



漁港風景



耳川

海・山・川・湖との豊かなふれあい

自然の恵みに抱かれて

と山と川と湖に恵まれた美浜は、レジャーの宝庫です。町内に十二カ所ある海水浴場は景観も水質も良く、シーズンには町内外から大勢の海水浴客が訪れます。名勝・三方五湖の景色を存分に楽しむなら、三方五湖を一望できるドライブコースのレインボーラインや快速ジェット船による三方五湖めぐりがあります。

豊かな自然は、豊かな食を美浜にもたらします。若狭湾や久々子湖、日向湖で獲れる水産物や耳川が潤す大地で収穫される農産物などはすべて自然の恵みです。これらの地元産物は、地元の商店や毎週日曜日に開催されるハートフル朝市、年二度の産業祭などで購入することができます。

まるごと満喫!!

若狭美浜

はあどふる 体験

素顔の美浜に出会える

「若狭美浜はあどふる体験」は、美浜町の自然や産業、文化、食を体験できるプログラムです。農業や漁業等の町の産業者の生業や経験を生かし、平成十六年に、若狭美浜はあどふる体験推進協議会が発足しました。体験コーディネート業務は、NPO法人はあどふる美浜ネットワークが携わり、「若狭美浜はあどふる体験」を行っています。

現在、農林漁業体験、味覚体験、自然・アウトドア体験、工芸・歴史文化体験など七十五種類のプログラムが用意されています。「へしこの町」美浜ならではの「へしこ料理体験」、若狭湾で大敷網の漁船に乗っての漁業体験など、どのプログラムも美浜らしさが詰まっていて、普通の観光旅行では体験できない美浜の魅力にふれることができます。

●大敷網体験・食体験

●養殖場エサやり体験

●地引き網体験

●ビーチウォッチング体験



美浜の大海原を満喫!
漁業体験

大敷網体験・食体験

大敷網漁の漁船に乗船し、漁師さんと一緒に網を引きます。帰港後は、魚のさばき方を学び、獲れたての魚を賞味できます。



美りの喜びを分かち合う!
農林業体験

田植え体験

昔ながらの田植えを体験できます。作業を通じて、お米に対する知識や理解を深められます。

美浜の伝統にふれる!

工芸・歴史 文化体験

作って感動!食べて満足!

味覚体験



座禅体験



そば打ち体験

●酪農体験

●国吉城址
探訪

●田植え・稲刈り体験

●芋掘り体験

●トレッキング体験

●自然・
アウトドア体験

●渓流釣り体験

美浜町のスポーツ

春のさわやかな薫風の中を快走

美浜・五木ひろし マラソン

毎年5月に行われる「美浜・五木ひろしマラソン」は、美浜町出身で名誉町民でもある歌手の五木ひろしさんを招いて行われる一大スポーツイベントです。日本陸連公認の若狭湾国定公園の海岸線を走るコースは風光明媚で、ランナーの人気が高く、町内はもちろん北は北海道から南は九州まで全国各地から市民ランナーたちが参加します。海岸線を快走し、心地よい汗を流します。



湖上で繰り広げられる熱い戦い

町民レガッタ

美浜町は「ボートの町」です。秋に開催される町民レガッタは、町民が三方五湖の自然とボート競技に親しむことを願って昭和63年にスタートした大会で、いまや恒例行事としてすっかり町に定着しています。



ビーチウォッチング体験

養殖場
エサやり体験

ボート体験

三方五湖めぐり

ボート体験

三方五湖の1つ久々子湖では、美浜町のスポーツであるボート競技を体験できます。

雄大な自然が先生! 自然・アウトドア体験



美浜町へのお便利リレー③

拝啓、
ふるさと様。

美浜ハートフル大使
山口良治さん



春の訪れが感じられる今、この頃です。バ
町民の皆様は、お縁をへにお春らしの
こと、科祭、いばり、おひなまつり
四季折々の自然の美しさを、お春の
歴史を語り、おひなまつり、おひなまつり
くれる。このまじりの人生をふり返る時
いにも、おひなまつり、おひなまつり、おひなまつり
くれた教を、おひなまつり、おひなまつり、おひなまつり
いにも感謝の念が、おひなまつり、おひなまつり、おひなまつり
町民の皆様、おひなまつり、おひなまつり、おひなまつり
心から、おひなまつり、おひなまつり、おひなまつり

原子力との共生をめざす

エネルギー新世紀

自然豊かな環境に最新の技術を結集した
原子力関連施設が集積する美浜町は
最先端のエネルギー産業拠点です。



中央制御室

美 原子力と共に歩む
浜町は、三基の原子力発電所が立地する日本有数のエネルギー供給基地です。
昭和四十五年に美浜発電所1号機が運転を開始して以来、原子力発電所と共に歩んできた三十年以上の歴史から、美浜町は「原子力と共生する町」として常に注目を集めています。美浜町は全国のモデルケースとなるべく、原子力の安全・安心を国内外に情報発信することをめざし、原子力発電所の安全性に関する研究施設の誘致を図るなど、町の一大産業であるエネルギー産業に関わる安全・安心技術の発展に貢献しています。



関西電力美浜発電所プロフィール

敷地面積 約52万m²

	1号機	2号機	3号機	合計
出力	34.0万kW	50.0万kW	82.6万kW	166.6万kW
運転開始年月	昭和45年11月	昭和47年7月	昭和51年12月	---
原子炉型式	加圧水型軽水炉 (PWR)			

ecology energy

先進のエネルギー環境教育

美 浜町は「原子力と共生する町」として、エネルギー環境教育に町を上げて取り組んでいます。町内小中学校では、児童・生徒のエネルギーや環境への関心と理解を深めるために、日本初となる小中一貫のエネルギー環境教育カリキュラムを策定し、原子力関連施設の見学や電気・自然エネルギーに関する体験学

習などを授業に取り入れながら、段階的・総合的な教育を進めています。

また、エネルギー環境教育をテーマにしたセミナーやフォーラム、授業研究会などを開催し、エネルギー環境教育の先進地として、より一層の充実をめざしています。



エネルギー環境教育カリキュラム冊子



美浜中学校パース

エネルギー環境教育の先進校をめざす美浜中学校では、新校舎に環境モニタリング設備をはじめとするエネルギー環境教育のための施設を組み込むことによって科学技術に対する子どもたちの関心の醸成を図っています。



太陽熱によるエコクッキング



太陽電池による発電



超音波を使った金属の厚さ測定



美浜文化探訪

450年の歴史をつなぐ

古の息吹 **国吉城址**

歴史に残る

”境目の城”

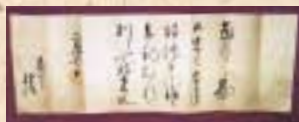
美

浜町はその昔、旧若狭国と旧越前国の国境に位置する重要な地でした。戦国時代、若越国境の”境目の城”として標高約二百メートルの城山に築かれたのが国吉城です。国吉城は城主の粟屋勝久が越前朝倉氏の攻撃に耐え、数年間にわたった籠城戦によって歴史に名を残しました。現在、国吉城址に残るのは曲輪の石垣や土塁などの土木構築物のみです。美浜町は、国吉城址と城下町・佐柿の古い町並みを後世に残すために国吉城址史跡公園の整備に着手しています。



国吉城まつり450年の宴

弘治2年(1556)に築城された国吉城が平成18年に築城450年を迎えたことを記念して、騎馬武者行列や火縄銃演武などの催しが行われました。



秀吉朱印状
(金山・龍澤寺)
町指定有形文化財

雨宝童子立像

(宮代・園林寺)

町指定有形文化財

雨宝童子は真言密教と神道が習合した尊像です。像高75.5cmの木造で室町時代の作です。



高那弥神社 ●

石製九重塔

(竹波・高那弥神社境内)

花崗岩製の九重層塔で、鎌倉時代の建立とされます。高さが557cmあり、若狭地方では数少ない巨大石塔です。



阿弥陀如来坐像

(早瀬・奥ノ堂)

町指定有形文化財

像高86.6cmの木造で、平安時代の作です。像容に地域色がよく現れています。



● 奥ノ堂



興道寺廃寺跡

佐田古墳群 ●

佐田古墳群

人物埴輪 (佐田)



● 国吉城址

地蔵菩薩立像 (大藪・久昌寺)

県指定有形文化財

平安時代の作で、彫刻に中央の影響が見られます。身代わり伝承があり、地元では金焼地蔵の名で知られています。



● 龍澤寺

● 興道寺廃寺跡

● 園林寺

● 久昌寺



美浜町民文化祭



弥美神社例祭 王の舞



織田神社例祭 そっそ神事



水中綱引き



納涼花火大会



子供歌舞伎



宇波西神社例祭 獅子舞

4月

宇波西神社例祭(気山) 4月8日

5月

弥美神社例祭(宮代) 5月1日

5月

子供歌舞伎(早瀬) 5月5日

5月

織田神社例祭(佐田) 5月11日

5月

美浜・五木ひろしまラソン 5月

7月

弁天祭(久々子) 7月中旬

7月

水無月祭(早瀬) 7月最終の金・土・日

8月

納涼花火大会 8月上旬

8月

精霊船送り(蒼浜) 8月15日

9月

八朔祭(新庄) 9月1日

9月

八朔祭(日向) 9月第1土・日

11月

美浜町民文化祭 11月上旬

1月

浜祭り(早瀬) 1月3日

1月

水中綱引き(日向) 1月第3日曜日



八朔祭り(新庄)



水無月祭



浜祭り



八朔祭り(日向)



弁天祭

美浜祭時記

基本理念

「ひと」が主役

～ 人づくりはまちづくり、
人が主役のまちづくりをめざします ～

「まち」に活力

～ 未来への活力を生む
まちづくりをめざします ～

「くらし」にうるおい

～ 快適で安心できる、うるおいある
まちづくりをめざします ～

将来像



自然 かがやき 人 いきいき まちがにぎわう 美(うま)し美浜



将来像の考え方

自然かがやき

海、山、川、湖という恵まれた自然環境と共生し、活用することによって、自然が一層かがやくまちをめざします。

人 いきいき

まちづくりの主役である人が、いきいきと、さまざまな分野で活躍し、快適で安心してこころ豊かなくらしをおくれるまちづくりをめざします。

まちがにぎわう

住民と本町を訪れる人がともに、さまざまな分野で活発に交流し、にぎわうまちをめざします。

美(うま)し

美しい自然環境、豊かな(=美しい)食材、恵まれた(=美しい)文化財・伝統、あたたかい(=美しい)心・人など、美浜独自の宝を大切に引き継いでいきます。



美浜町花のまちづくり
コンクール



小学校児童による湖の水質調査

海 山・川・湖という豊かな美浜町の自然を守るため、自然と共生できる環境整備や美化活動を推進しています。開発においては、美浜町国土利用計画や都市計画などに基つき、調和のとれた土地利用を進めています。また、住民と行政が協働して、若狭湾や三方五湖など水辺の風景に代表される自然景観や漁村集落など美浜らしさを守る活動に取り組んでいます。

美しい自然と
共生するまち

美 浜町と都市部を結ぶ舞鶴若狭自動車道をはじめ主要幹線道の整備やコミュニティバスの運行による公共交通網の充実に努めています。環境衛生対策では、下水道の完備や家庭ごみの減量・再資源化などに取り組んでいます。また、住民の生命と財産を守るため、自然災害や原子力災害などあらゆる災害に対応する地域防災体制の充実と強化を推進しています。



コミュニティバス



舞鶴若狭自動車道(美浜IC付近完成予想図)

安心で快適に
くらするまち

健やかで ぬくもりのあるまち

少

子高齢化対策は、地域福祉で避けては通れないテーマです。美浜町は、少子化対策として、「美浜町少子化対策構想」「美浜町次世代育成支援行動計画」を策定し、家庭や地域での子育て支援や保育所再編などによる多様な保育サービスの充実に取り組んでいます。高齢者福祉については、「美浜町地域福祉計画」を基本に、保健・福祉・医療が一体となった施策を推進しています。また、平成二十年度からは、町の健康づくり計画である「健康みはま21」に基づいて、全ての町民の健康増進に取り組んでいます。



お達者セミナー



子育て支援センター

元気とにぎわいの あるまち

ま

ちに元気とにぎわいを生む産業の振興に取り組んでいます。魅力のある特産物の開発や地産地消の推進による農林水産業や商工業の振興を図るとともに、農林水産業と観光業の連携による体験型観光など産業間の連携を強化し、横断的に事業を展開することにより産業全体の活性化を進めています。また、企業誘致を積極的に推進し、新事業と雇用の創出をめざしています。



野菜工場
(人工の光による水耕栽培)



ハートフル朝市

こころ豊かな 人を育むまち

美

浜町は、住民がめまぐるしく変化する社会情勢に対応し、心豊かに人生を送ることができるよう「生涯学習まちづくりプラン」を策定しています。平成十六年には「生涯学習のまち宣言」を行い、家庭や地域、学校における学習機会や内容の拡充に取り組んでいます。また、小中学校では、エネルギー環境教育をはじめ美浜の特性を生かした学習の取り組みを行っています。



生涯学習(森林浴)



姉妹都市台湾石門郷の学生との交流

みんなで共に 拓くまち

地

方分権型社会の進展により、まちの将来を住民全体で考え、直面する課題を住民と行政が協力して解決する「協働のまちづくり」を推進しています。その一環として、地域活動やボランティア活動など住民の自立的な活動を支援しています。また、住民のまちづくり参加に不可欠な情報の共有化を促進するため、広報・広聴活動や広報紙の充実を図るとともにケーブルテレビなど通信技術を活用した地域情報ネットワークの構築を進めています。



人権キャンペーン出発式



協働のまちづくりフォーラム



1 美浜町役場

2 美浜町保健福祉センター
はあとびあ

3 美浜町中央公民館

4 美浜町立図書館

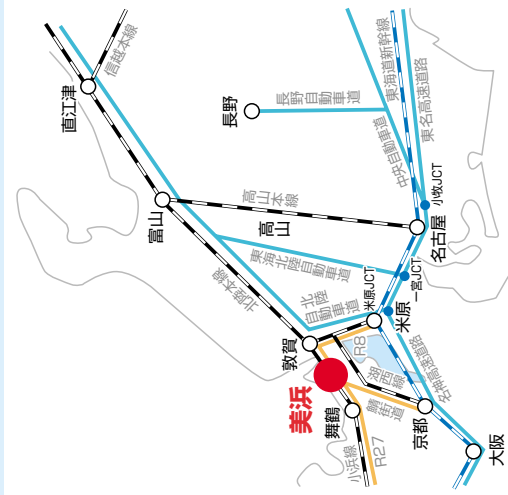
5 美浜町総合体育館

6 美浜町子育て支援センター

美浜町

イラストマップ MIHAMATAWN

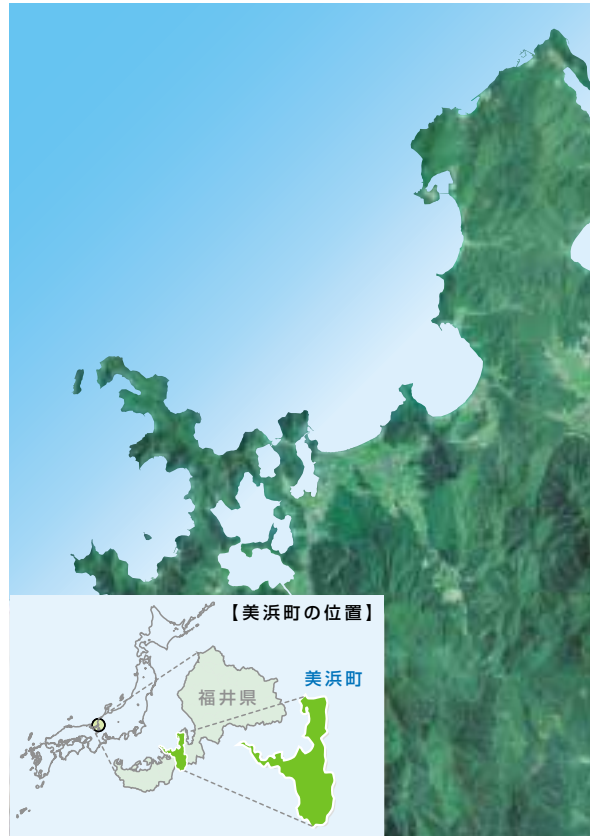
自然とふるさとの心あふれる風景があふれている美浜町。
レジャーに、観光に、魅力的なスポットがそろっています。



交通のご案内

- 大阪から**
- JR(大阪-京阪-美浜)約2時間
 - 車で(名神高速-北陸自動車道)約2時間30分
- 京都から**
- JR(京都-敦賀-美浜)約1時間30分
 - 車で(名神高速-北陸自動車道)約2時間
- 名古屋から**
- JR(名古屋-米原-敦賀-美浜)約2時間
 - 車で(名神高速-北陸自動車道)約2時間
- 東京から**
- JR(東京-名古屋-米原-敦賀-美浜)約3時間30分
 - 車で(東名高速-名神高速-北陸自動車道)約7時間





町章



町の花
ツツジ



町の木
マツ



美浜町勢要覧 概要版

発行:福井県 美浜町
編集:美浜町企画政策課
発行年月:平成20年3月
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25
TEL 0770-32-1111/FAX 0770-32-1115
<http://www.town.mihama.fukui.jp/>

- 《美浜町町民指標》
- 一. 自然を愛し清潔で美しい町をつくりましょう
 - 一. きまわりを守り健康で明るい町をつくりましょう
 - 一. 勤労をとうとび活力ある豊かな町をつくりましょう
 - 一. 教養を高め未来をひらく文化の町をつくりましょう
 - 一. いつも笑顔であいさつし心のふれあう住みよい町をつくりましょう

昭和59年制定